

第 19 回中央非常通信協議会表彰

被表彰者（敬称略）

	被表彰者	功績
個人	日本通運株式会社 四国支店 石々川（いしいしかわ） 初美（はつみ）	石々川初美氏は、非常通信の重要性を深く認識し、24年の長期にわたり四国地方非常通信協議会の委員として、同協議会が行う非常通信訓練、非常災害時における通信の確保のための通信体制・通信設備の総点検、非常通信に関する周知・啓発等の活動に積極的に参画し、非常時における通信確保に多大な貢献をした。
団体	国土交通省 中国地方整備局企画部 (代表者： 情報通信技術調整官 武良 敏夫)	平成21年7月中国・九州北部豪雨において、被災直後から4日間にわたり災害対策用ヘリコプターによる現地調査を行い、被災状況の映像を山口県及び防府市に配信するだけでなく、通信衛星回線と組み合わせた臨時的監視システムを設置し、被災地のリアルタイムの映像・データ情報を災害対策本部に情報提供するなど、災害情報の収集・伝達を行い、非常時の通信確保に多大な貢献をした。
	西日本電信電話株式会社 山口支店 (代表者：支店長 杉田 和哉)	平成21年7月中国・九州北部豪雨において、直ちに災害対策に当たり、7月21日～7月30日までの10日間、延べ545人日の稼働体制の下、被災地に衛星通信設備を運搬し臨時回線を設営するとともに、避難所等に臨時的無料公衆電話を多数設置し、非常時の通信確保に多大な貢献をした。
	株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ 中国支社 (代表者：支社長 井手 明子)	平成21年7月中国・九州北部豪雨において、直ちに災害対策に当たり7月21日～8月14日までの25日間、災害復旧体制の下、災害復旧機関（自衛隊）及び自治体（防府市）への携帯電話及び充電器を無償貸与並びに迅速かつ的確に災害支援を行い、非常時の通信確保に多大な貢献をした。
	KDDI株式会社 広島テクニカルセンター (代表者：センター長 鵜川 美彦)	平成21年7月中国・九州北部豪雨において、直ちに災害対策に当たり豪雨による停電や装置故障、伝送路障害の影響を受けた基地局の復旧対応を迅速に行った。 特に、山口岩郷山局では、進入路の土砂崩れによりエントランス回線や電力供給が断たれ、周辺において携帯電話が使用できない状態となり、孤立状態となった。そこで、7月21日から23日までの3日間で、延べ19人の稼働体制の下、車載基地局を緊急手配し、短時間で宇部市小野地区のサービス復旧を実現させ、非常時の通信確保に多大な貢献をした。

<p>ソフトバンクモバイル株式会社 中国技術部 (代表者： 中国技術部長 久保田 寿良)</p>	<p>平成21年7月中国・九州北部豪雨において、直ちに災害対策に当たり豪雨による停電や装置故障、伝送路障害の影響を受けた基地局の復旧対応を迅速に行った。</p> <p>特に、水没により設備が冠水したIMT山口平井局のエリア内では、中四国ネットワークセンターと協力し、2日間で延べ20人の稼働体制の下、被災地に仮設可能な小型無線機や電源機器を搬入し、短時間でのサービス復旧を実現させたことにより、非常時の通信確保に多大な貢献をした。</p>
<p>中国電力株式会社 販売事業本部山口営業所 (代表者：所長 佐伯 正浩)</p>	<p>平成21年7月中国・九州北部豪雨において、直ちに災害対策に当たり、自営通信ネットワークを介した災害復旧総合システム等による停電情報や、自営電気事業用無線局で得た災害現場の被災情報や復旧状況を、山口市及び防府市の災害対策本部に情報提供するなど、相互に災害情報の収集・伝達を行うこと並びに早期停電復旧を通じて非常時における通信確保に多大な貢献をした。</p>
<p>株式会社ぶらざFM (代表者： 代表取締役社長 大村 俊雄)</p>	<p>平成21年7月中国・九州北部豪雨発生において、7月21日から7月31日までの間予定の番組を大幅に変更して災害に関する放送を行った。</p> <p>放送内容はスタッフ自らが災害現場に向かい状況を携帯電話でレポートするほか、リスナーからの惨状を伝える電話・メールを紹介した。その他、地元気象台や関係自治体から地域に必要な情報収集に努め、市民への災害情報を積極的に提供し、非常時の通信確保に多大な貢献をした。</p>